

【FdData 高校入試：中学社会歴史：飛鳥・奈良】

[\[聖徳太子の政治／飛鳥文化／大化の改新・白村江の戦い・壬申の乱／律令国家の成立と平城京／班田収授法と税制／中国や朝鮮との関係／天平文化・国家仏教・歴史書／FdData 入試製品版のご案内\]](#)

[\[FdData 入試ホームページ\]](#)掲載の pdf ファイル(サンプル)一覧

※次のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると、新規ウィンドウが開きます

社会：[\[社会地理\]](#)，[\[社会歴史\]](#)，[\[社会公民\]](#)

理科：[\[理科 1 年\]](#)，[\[理科 2 年\]](#)，[\[理科 3 年\]](#)

数学：[\[数学 1 年\]](#)，[\[数学 2 年\]](#)，[\[数学 3 年\]](#)

※全内容を掲載しておりますが、印刷はできないように設定しております

【】 飛鳥時代

【】 聖徳太子の政治

[聖徳太子が摂政となる]

[問題]

推古天皇の摂政となった人物の名を、漢字で書け。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]聖徳太子

[解説]

6 世紀後半、大和政権の中では、有力豪族たちが次の大王をだれにするかをしばしば争っていた。その中で、渡来人と結び付き、新しい知識と技術を活用した蘇我氏(蘇我馬子)が、物部氏をほろぼして勢力を強め、593 年に女性の推古天皇(馬子のめいに当たる)を即位させた。飛鳥地方(奈良盆地南部)で政治をとった推古天皇の下、おいの聖徳太子(厩戸皇子)が摂政となり、蘇我馬子と協力し、中国や朝鮮に学びながら、大王(天皇)を中心とする政治の仕組みを作ろうとした。

※「摂政」の語句を削除した教科書もある。

※入試出題頻度：「聖徳太子◎」「推古天皇○」「摂政△」「蘇我馬子(蘇我氏)○」

(頻度記号：◎(特に出題頻度が高い)，○(出題頻度が高い)，△(ときどき出題される))

[聖徳太子が摂政となる]

聖徳太子が推古天皇の摂政になる
蘇我馬子と協力して政権をにぎる



[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

聖徳太子は、用明天皇の子であったが天皇の地位にはつかず、おばにあたる(①)の(②)として、蘇我馬子と協力しながら、天皇を中心とする政治をめざした。

(青森県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 推古天皇 ② 摂政

[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

推古天皇の「おい」に当たる(①)は、推古天皇の「おじ」に当たる(②)と協力しながら、新しい政治を行った。

(熊本県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 聖徳太子 ② 蘇我馬子

[冠位十二階]

[問題]

聖徳太子は天皇中心の政治をめざして、家柄にとらわれず才能のある人物を役人に用いる制度を整えた。この制度を何というか。

(石川県)

[解答欄]

--

[解答]冠位十二階

[解説]

聖徳太子は、国家の仕組みを整えるため、603年に冠位十二階を、604年に十七条の憲法けんぽうを定めた。冠位十二階は、役人の位を冠の色(紫色が最高位)で区別する制度で、家柄いえがらにとらわれず、才能さいのうや功績こうせきのある人物を役人に取り立てようとするものであった。

[冠位十二階] 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てるための制度
--

※入試出題頻度：「冠位十二階◎」「家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てるため○」

[問題]

聖徳太子が制定した冠位十二階の目的を、次のア～エから1つ選んで記号を書け。

- ア 政治の心構えを説くため。
- イ 大陸の進んだ文化を取り入れるため。
- ウ 国が土地と人民を直接支配するため。
- エ 能力や功績のある人物を役人に取り立てるため。

(秋田県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

アは十七条の憲法，イは遣隋使，ウは後の大化の改新のときに出された公地公民。

[問題]

聖徳太子は、冠位十二階の制度を設けた。この制度を設けたのはなぜか。その理由を、簡単に書け。

(香川県)

[解答欄]

[解答]家柄にとらわれず才能や功績のある人物を役人に取り立てるため。

[十七条の憲法]

[問題]

次の資料は、聖徳太子が当時の役人の心がまえとして示したものの一部である。これを何というか。

(資料)

- 一に曰く、和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ。
- 二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは仏・法・僧なり。
- 三に曰く、詔をうけたまわりては必ずつつしめ。

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]十七条の憲法

【解説】

[十七条の憲法]

役人の心構えを示した 聖徳太子が制定

一に曰く、和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ（争いをやめよ）

二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは仏・法・僧なり（仏教を重んじよ）

三に曰く、詔をうけたまわりては必ずつつしめ（天皇の命令に従え）

聖徳太子は、604年に十七条の憲法を定め、仏教を重んじるべきことや天皇の命令に従うべきことなど、役人の心構えを示した。

「一に曰く、和をもって貴しとなし、さからう（争う）ことなきを宗とせよ」とは「和を尊び、争いをやめよ」という意味である。

この記述からも、当時、豪族間の対立が激しかったことがわかる。

「二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは仏・法・僧なり」とは「仏教を重んじよ」という意味である。聖徳太子は、仏教をさかんにすることで豪族間の対立をやわらげ、仏教を共通の信仰として国家の統一をはかろうとした。

「三に曰く、詔をうけたまわりては必ずつつしめ」とは「天皇の命令を受けたときは、必ずこれに従え」という意味である。この当時、天皇（大王）の命令（詔）が必ずしも守られていなかったことがうかがえる。

※このころの大和政権は、豪族の連合政権であり、天皇（大王）の権力は絶対的なものではなかった。聖徳太子は、これを改めて、天皇を中心とする体制をめざしたのである。しかし、実際に、天皇中心の中央集権国家ができるのは、大化の改新（645年）と壬申の乱（672年）以降であった。

※入試出題頻度：「聖徳太子○」「十七条の憲法◎」「役人の心得○」「和○」「詔○」

「三宝とは仏・法・僧なり○」

【問題】

次の資料は、聖徳太子によって定められた法の一部である。①この法は何とよばれるか。その名称を書け。②また、この法によって示されたこととして適切でないものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えよ。

（資料）

一に曰く、和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ。

二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは仏・法・僧なり。

三に曰く、詔をうけたまわりては必ずつつしめ。

ア 役人としての心構え

イ 学問と武道に励むこと

ウ 仏教をうやまうこと

エ 天皇の命令に従うこと

（静岡県）

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 十七条の憲法 ② イ

[問題]

次の資料について、後の各問いに答えよ。

一に曰く、和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ。

二に曰く、あつく三宝を敬へ。三宝とは仏・法・僧なり。

- (1) この資料は何か。
- (2) (1)を制定した人物は誰か。
- (3) (1)はだれの心がまえを示したものか。次から1つ選べ。

〔農民 僧 役人 天皇〕

(愛媛県・滋賀県)

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 十七条の憲法 (2) 聖徳太子 (3) 役人

[問題]

次は聖徳太子が定めた十七条の憲法の一部である。①～③に適語を入れよ。

一に曰く、(①)をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ。

二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは(②)・法・僧なり。

三に曰く、(③)をうけたまわりては必ずつつしめ。

(富山県改)

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 和 ② 仏 ③ 詔

[問題]

A 班は聖徳太子が進めた改革の目的を、次のように説明した。①, ②に当てはまる語をそれぞれ書け。

(①)や儒教の考え方を取り入れ、(②)中心の国づくりを目指した。

(群馬県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 仏教 ② 天皇

[遣隋使]

[問題]

十七条の憲法がつけられた時期に、小野妹子が中国に使節として派遣された。この使節を何というか。

(兵庫県)

[解答欄]

[解答]遣隋使

[解説]

589年に隋が中国を統一し、強大な帝国をつくりあげた。
聖徳太子は、607年に、小野妹子を遣隋使として派遣した。
隋と対等な外交関係を結ぶことで東アジアでの日本の立場を有利にすることと、隋の進んだ制度や文化を取り入れることが遣隋使派遣の目的であった。遣隋使が持ち帰った中国の文化により、日本ではじめての仏教文化が栄えた。隋は大運河の建設や外征を行ったが、兵役や重税に苦しむ農民の反乱によって滅び、618年に唐が中国を統一した。

[対外関係]

589年 隋が中国を統一
593年 聖徳太子が摂政になる
607年 遣隋使(小野妹子)
618年 唐が中国を統一

※入試出題頻度：「小野妹子○」「遣隋使◎」「隋○」「唐△」

[問題]

聖徳太子が遣隋使として派遣した代表的な人物名を書け。

(佐賀県)

[解答欄]

[解答]小野妹子

[問題]

聖徳太子は小野妹子らを中国に派遣したが、中国のこの時期の王朝名を書け。

(新潟県)

[解答欄]

[解答]隋

[問題]

聖徳太子の外交として、適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア 隋に小野妹子らをつかわし、隋との対等な国交をめざした。

イ 唐の進んだ制度や文化を取り入れるため、遣唐使を送った。

ウ 百済を支援するために、大軍を朝鮮半島に送った。

エ 漢につかいを送り、皇帝から金印を授けられた。

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]ア

【】 飛鳥文化

[問題]

法隆寺は、聖徳太子によって建てられた。この人物が活躍した時代に栄えた、日本における最初の仏教文化を何というか。

(宮城県)

[解答欄]

[解答] 飛鳥文化

[解説]

6世紀の半ばに朝鮮半島から伝わった仏教は、初めは渡来人や蘇我氏を中心に信仰されていたが、聖徳太子と蘇我氏が仏教を重んじるようになったため、飛鳥地方とその周辺に寺がいくつも造られるようになった。それまでの古墳にかえて、寺を造ることで自分の権力を示そうとする者も現れるようになった。前方後円墳は、このころを最後に造られなくなった。聖徳太子が建てた法隆寺は、現存する世界最古の木造建築である。飛鳥地方を中心に日本で最初の仏教文化が栄えたが、これを飛鳥文化といい、法隆寺の釈迦三尊像や法隆寺金堂の壁画がその代表とされている。これらは、おもに朝鮮半島からの渡来人の子孫によってつくられたため、南北朝時代の中国や、さらに遠くインドや西アジアなどの文化の影響を受けている。

【飛鳥文化】
日本で最初の仏教文化
法隆寺, 釈迦三尊像
弥勒菩薩像



聖徳太子の肖像画



法隆寺



法隆寺の釈迦三尊像



法隆寺の弥勒菩薩像



法隆寺金堂の壁画

※入試出題頻度：「法隆寺(図)◎」「飛鳥文化◎」「日本で最初の仏教文化△」「釈迦三尊像△」

[問題]

仏教を厚く信仰した聖徳太子が建てたと伝えられる、世界最古の木造建築として有名な寺院がある。①その寺院の名称を答えよ。②また、その寺院は写真 a~d のどれか。

ア



イ



ウ



エ



(佐賀県改)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 法隆寺 ② エ

[問題]

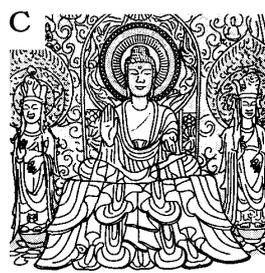
①聖徳太子が建てたと伝えられ金堂や五重塔などが現存する世界最古の木造建築である寺院の名前を書け。②また、この寺院の金堂に安置されている仏像として適当なものを、次のA～Dから1つ選べ。



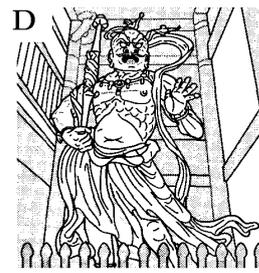
弥勒菩薩像



阿弥陀如来像



釈迦三尊像



金剛力士像

(山梨県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 法隆寺 ② C

[問題]

次の各問いに答えよ。

(1) 法隆寺を建てた人物を、次の[]から1人選べ。

[蘇我馬子 中大兄皇子 聖武天皇 聖徳太子]

(2) (1)の人物が法隆寺を建てた目的を簡単に答えよ。

(奈良県・宮崎県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 聖徳太子 (2) 仏教を広めるため。

[問題]

飛鳥文化の特徴を「最初」という語句を使って簡単に説明せよ。

(秋田県改)

[解答欄]

--

[解答]日本で最初の仏教文化である。

[問題]

右の資料を見つけた友彦君は、日本と韓国のこの時代の仏像はなぜ似ているのかという疑問を持ち、その理由として考えられることを資料を参考に、発表原稿にまとめた。Xに入る適切な内容を書け。

(友彦君の発表原稿)

資料のように、この時代の2国の仏像が似ているのは、朝鮮半島から日本列島に一族でまとまって移住した(X)ためと考えられます。

(宮崎県)

[解答欄]

[解答]渡来人の子孫によってつくられた

[日本と韓国の弥勒菩薩像]



[問題]

聖徳太子が政治を行っていたころの仏教に関する記述と、そのころつくられた仏像の組み合わせとして正しいものを、下のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

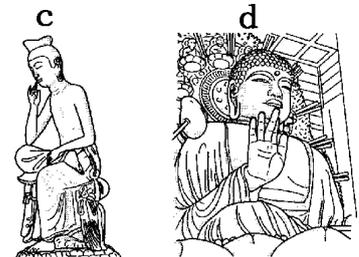
- a 仏教の力で国家を守ってもらう考えにもとづき、国分寺や国分尼寺が建立された。
- b 国づくりに仏教の考えがとり入れられ豪族たちが権威を示すため寺院を建立した。

ア aとc イ aとd ウ bとc エ bとd

(島根県)

[解答欄]

[解答]ウ



[問題]

飛鳥地方は、現在のどの都道府県に含まれるか。都道府県の名を書け。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]奈良県

【】大化の改新・白村江の戦い・壬申の乱

[大化の改新]

[問題]

中大兄皇子は、中臣鎌足らとともに、645年、蘇我氏をたおし、新しい政治の仕組みを作るための改革を始めた。この改革は何とよばれるか。その名称を書け。

(静岡県)

[解答欄]

--

[解答]大化の改新

[解説]

隋は、7世紀の初めには、高句麗への攻撃の失敗などが原因で滅び、新たに唐が中国を統一した。7世紀の中ごろ、唐は高句麗を攻撃し、朝鮮半島の緊張が高まっていた。日本でも、戦争に備え、天皇中心の強力な中央集権国家づくりを急ぐ必要があった。

[大化の改新(645年)]

中大兄皇子、中臣鎌足が蘇我氏を滅ぼす
→ 公地・公民などの改革

しかし、聖徳太子の死後、蘇我氏は聖徳太子の一族をほろぼして大きな力をふるっており、中央集権国家とはほど遠い状態だった。そこで、中大兄皇子(のちの天智天皇)と中臣鎌足(のちに藤原鎌足)は、645年に蘇我氏(蘇我蝦夷・蘇我入鹿の親子)をほろぼして実権をにぎり、改革を始めた。中大兄皇子は、大化という年号を定め、翌年、全国の土地と人々を国家のものとし、天皇がそれを支配するという公地・公民の方針を打ち出した。また、都は難波(大阪府)に移された(難波宮)。この一連の改革を大化の改新という。(大化の改新むし殺し(645))
※入試出題頻度:「大化の改新◎」「中大兄皇子◎」「中臣鎌足○」「蘇我氏○」「公地・公民○」

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 大化の改新の中心人物で、後に天智天皇となった人物は誰か。
- (2) 大化の改新のとき、(1)の人物とともに改革に取り組んだ人で、後の藤原氏の祖先にあたる人物は誰か。

(茨城県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 中大兄皇子 (2) 中臣鎌足

[問題]

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

7世紀はじめに中国を統一した(①)(国名)が朝鮮半島の(②)(国名)を攻撃すると、東アジアでは緊張が高まった。このような中で、中大兄皇子は勢いをふるっていた(③)氏を倒し、天皇を中心とする中央集権国家をめざし、政治改革を始めた。

(福島県改)

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 唐 ② 高句麗 ③ 蘇我

[問題]

次の文章を読んで、後の各問いに答えよ。

7世紀前半、隋にかわり(①)が中国を統一し、対立する高句麗を攻撃したことで、緊張が高まった。日本は戦争に備える国づくりを急いで行っていたが、独裁的な政治を行う蘇我氏に対する不満が高まっていた。このことを背景に、中大兄皇子は中臣鎌足らとともに蘇我氏をたおし、この改革を始めた。その後、中大兄皇子らは(②)。

(1) 文章中の①に当てはまる国名を書け。

(2) 文章中の②に入れる文として最も適切なものを、次のア～エから1つ選び記号で答えよ。

- ア 全国的に同じ基準で土地の広さやよしあしを調査し、農民からそれに応じた年貢を徴収した
- イ 新しく開墾した土地であれば、いつまでも自分の私有地にしてもよいこととした
- ウ 土地と人々を公地・公民として、国家の直接の支配下に置こうとした
- エ 五人組の制度をつくり、犯罪の防止や年貢の納入に連帯責任を負わせるようにした

(宮崎県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 唐 (2) ウ

[解説]

(2)アは豊臣秀吉の太閤検地、イは奈良時代の墾田永年私財法、エは江戸時代である。

[問題]

大化の改新で、豪族が支配していた土地と人々を国家が直接支配するの方針が打ち出された。この方針を何というか。

(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]公地・公民

[問題]

645年、中大兄皇子らは、蘇我氏をほろぼし、大化の改新とよばれる政治改革にとりかかった。この改革では、それまでの土地と人民の支配をどのように変えようとしたか、簡潔に書け。

(栃木県)

[解答欄]

[解答]豪族が支配していた土地と人民を、公地・公民として国家が直接支配するようになった。

[白村江の戦い]

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) わが国は、663年、百済を助けるために大軍を送って新羅と唐の連合軍と戦ったが、この戦いを何というか。
- (2) (1)の戦いが行われた場所として最も適当なものを、右の地図のア～エの中から1つ選び、記号を書け。



(佐賀県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 白村江の戦い (2) イ

[解説]

隋は、7世紀の初めには、高句麗への攻撃の失敗などが原因で滅び、新たに唐が中国を統一した。7世紀後半、朝鮮半島では新羅が統一にのりだし、唐と連合して百済をほろぼした。百済ではそののちも豪族が兵を集めて唐や新羅の軍に抵抗し、日本に救援



[白村江の戦い]

新羅が唐と結んで、百済をほろぼす

↓

中大兄皇子、大軍を送る

663年 白村江の戦い

↓

新羅と唐の連合軍に敗れる

水城と大野城を築き、防人を配備

中大兄皇子：即位して天智天皇

を求めてきた。中大兄皇子は、百済を助けるために大軍を送ったが、663年の白村江の戦いでやぶれ、以後、朝鮮半島から手を引いた。

中大兄皇子は、唐や新羅の襲来に備え、^{だざいふ}大宰府を守るために^{みずき}水城と^{おおのじょう}大野城を築き、また^{さきもり}防人という兵士を配置した。中大兄皇子は都を^{おおつのみや}大津宮に移し、即位して^{てんじ}天智天皇となり、国内の改革に専念した。新羅はそののち、唐と連合して高句麗もほろぼし、さらに676年には唐の勢力を追い出して、朝鮮半島を統一した。

※入試出題頻度：「百済○」「新羅○」「白村江の戦い◎」「天智天皇○」

[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

大化の改新の後，中大兄皇子は朝鮮半島の(①)という国を救うために援軍を送ったが，唐と(②)の連合軍に敗北した。

(長崎県・愛知県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 百済 ② 新羅

[問題]

次の文中の①，③にあてはまる適語を書け。また，②の()内より適語を選べ。

663年の(①)の戦いのあと，わが国では，②(高句麗と百済／高句麗と新羅／唐と百済／唐と新羅)からの攻撃に備えて，西日本の各地に山城などの防衛施設がつくられた。また，中大兄皇子は即位して(③)天皇になった。

(熊本県・愛媛県)

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 白村江 ② 唐と新羅 ③ 天智

[問題]

7世紀の状況を示した次の説明があてはまる場所として適切なものを，右図のア～エから1つ選んで，その符号を書け。

日本は白村江の戦いの後，唐・新羅の攻撃から防衛の拠点を守るため，朝鮮式山城である大野城を築いた。

(兵庫県)

[解答欄]

[解答]ウ



[問題]

次の資料を読んで、後の各問いに答えよ。

664年に、対馬・壱岐・筑紫国などに x 防人をおいた。また、筑紫国に大きな堤を築いて水をたくわえ、名付けて y 水城と^いった。667年に、z 近江の大津に都に移した。

(1) 資料中の下線部 x がおかれたり、下線部 y が築かれたりしたのはどのような理由からか。

この頃、朝鮮半島で起こった出来事と関連づけて、簡潔に書け。

(2) 資料中の下線部 z がおかれたのは、現在のどの都道府県か。その都道府県名を書け。

(奈良県)

[解答欄]

(1)	
(2)	

[解答](1) 白村江の戦いに敗れたので、唐や新羅からの攻撃に備えるため。 (2) 滋賀県

[問題]

香川県には、白村江の戦いの後、唐・新羅の連合軍の襲来にそなえて、西日本の守りを固めるために中大兄皇子の命令によって築かれた屋島城があった。この城が築かれたのは、年表中の A~D のどの時期か。1つ選んで、その記号を書け。

(香川県)

[解答欄]

[解答]B

年代	できごと	
593	聖徳太子が摂政となる	
645	大化改新がおこる	
710	都を平城京に移す	
752	東大寺の大仏が完成する	
794	都を平安京に移す	

[壬申の乱]

[問題]

大海人皇子は、天智天皇の死後におきた(①)の乱に勝利し、即位して(②)天皇となった。文中の①, ②に適語を入れよ。

(長崎県・鹿児島県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 壬申 ② 天武

【解説】

大化の改新以来、30年近くも政治にあたっていた天智天皇(即位前は中大兄皇子)が死去した翌672年、天智天皇の子である大友皇子に対して、天智天皇の弟である大海人皇子が兵をあげて天皇の位をめぐる戦いが起こった。これを壬申

〔壬申の乱(672年)〕

天智天皇の死後、天皇の位をめぐる争い
勝利した大海人皇子が即位 → 天武天皇
持統天皇：藤原京をつくる

の乱という。(無理な争い2人(672)でし) 大海人皇子は各地の兵力を結集して勝利をおさめ、大友皇子は自害して果てた。戦いに勝った大海人皇子は、即位して天武天皇になった。壬申の乱によって、大友皇子側について有力な中央豪族が没落したことで、強大な権力を手にした天武天皇を中心に中央集権国家体制の形成が進んだ。このころ、天皇の権威が高まり、神としてあがめようとする天皇の神格化が始まったとされる。天武天皇は、ふたたび飛鳥に都を移して律令や歴史書の編さんを命ずるなど、新しい政治のしくみを強力につくりあげていった。天武天皇の死後は、天武天皇の皇后が即位して持統天皇となり、事業を引き継いだ。持統天皇は、道路によってごぼんの目のように区画された、日本ではじめての本格的な都である藤原京をつくるなどして、律令制度を実施する準備を整えた。

※入試出題頻度：「壬申の乱◎」「天武天皇◎」「持統天皇：藤原京△」

【問題】

天武天皇に関連する内容を正しく説明したものを、次のア～エの中から1つ選び、記号を書け。

- ア 仏教の力によって国を守るため、奈良の東大寺に大仏をつくった。
- イ 壬申の乱に勝利したあと即位し、新しい政治のしくみをつくろうとした。
- ウ 仏教や儒教の考えを取り入れ、役人の心構えを示す十七条の憲法をつくった。
- エ 都を平安京に移し、ゆらいできた律令政治を立て直そうとした。

(佐賀県)

【解答欄】

【解答】イ

【解説】

アは聖武天皇(奈良時代)。ウは聖徳太子。エは桓武天皇(平安時代初期)。

[問題]

藤原京は、天武天皇の後に即位した(X)がつくった、我が国最初の本格的な都である。
X に当てはまる天皇名を書け。

(愛媛県)

[解答欄]

[解答]持統天皇

[問題]

次の a～c は、大化の改新から大宝律令の制定までの期間の出来事である。年代の古いものから順に並べよ。

- a 白村江の戦いが起こる。
- b 藤原京に都を移す。
- c 壬申の乱が起こる。

(奈良県)

[解答欄]

[解答]a→c→b

[解説]

a(白村江の戦い 663 年)→c(壬申の乱 672 年)→b(藤原京 694 年)

【】 律令国家の成立・奈良時代

【】 律令国家の成立と平城京

[大宝律令]

[問題]

藤原京が置かれていた 701 年に、唐にならい、天皇を頂点とした国家のしくみを定めたままりがつけられた。このきまりを何というか。

(長崎県)

[解答欄]

--

[解答]大宝律令

[解説]

壬申じんしんの乱らんによって、巨大な兵力と権力をにぎった天武てんむ天皇は、その権力を背景に天皇中心の政治を行い、中央ちゅうおう集権しゅうけん国家建設の事業を強力に推し進めた。天武天皇の死後は、皇后こうごうであった持統じとう天皇が事業を引き継いだ。こうして、天武・持統両天皇の時代に、大化の改新以来の中央集権国家建設の事業は、ようやく完成に近づいた。

701 年に大宝律令たいほうりつりょうが完成した(持統天皇の時代)(大宝律令、慣れはじめ(701))。大宝律令は唐の律令を手本としたものである。「律」は刑罰けいぼつのきまりで、「令」は政治りょうを行ううえでのさまざまな決まりである。律令に基づいて政治を行う国家を律令国家という。近畿地方の有力豪族ごうぞくは貴族きぞくとされて律令国家に組み込まれ、それまでの豪族の支配から天皇が中心になって全国を統一して支配する仕組みが整った。

[[大宝律令(701年)]]

唐にならって(律令) (律令国家)

律: 刑罰のきまり

令: 政治を行ううえでのきまり

豪族→貴族

※入試出題頻度: 「唐を手本○」「大宝律令◎」「律令(律令国家)○」

「律: 刑罰のきまり, 令: 政治を行う上でのきまり△」「貴族△」

[問題]

次の文中の①の()の中から適当なものを1つ選べ。また、②に当てはまる語を書け。

奈良時代の政治は、朝廷が①(漢/隋/唐)にならって作成した刑罰や政治のきまりにもとづいて行われた。701年に完成したそのきまりを(②)という。

(熊本県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 唐 ② 大宝律令

[問題]

唐にならって制定された，刑罰のきまりや政治を行ううえでのさまざまなきまりを何というか，漢字2字で書け。

(長野県)

[解答欄]

--

[解答]律令

[問題]

唐の制度にならい，刑罰や政治のきまりを定め，それにもとづいておさめられていた国家を何というか書け。

(福井県)

[解答欄]

--

[解答]律令国家

[問題]

次の文中の①，②に入る適切な語をそれぞれ漢字1字で書け。

唐の法律にならって，刑罰のきまりである(①)と政治を行う上でのきまりである(②)を定め，これにもとづいて政治を行うことで，天皇を頂点とする国家づくりを目指した。

(富山県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 律 ② 令

[問題]

律，令とは，どのようなものか。それぞれ簡潔に書け。

(和歌山県)

[解答欄]

律：	令：
----	----

[解答]律：刑罰のきまり 令：政治を行う上でのきまり

[問題]

律令国家を運営した、高い位をあたえられた人々の身分を何というか、漢字2字で書け。

(熊本県)

[解答欄]

[解答]貴族

[問題]

次のア～ウを、年代の古いものから順に記号で答えよ。

ア 天智天皇のあとつぎ争いである壬申の乱がおこった。

イ 律令国家のしくみを定めた大宝律令がつくられた。

ウ 中臣鎌足らによって大化の改新が行われた。

(熊本県)

[解答欄]

[解答]ウ→ア→イ

[解説]

ウ(大化の改新 645 年)→ア(壬申の乱 672 年)→イ(大宝律令 701 年)

[平城京]

[問題]

710年に唐の都長安にならって、奈良につくられた新しい都の名を書け。

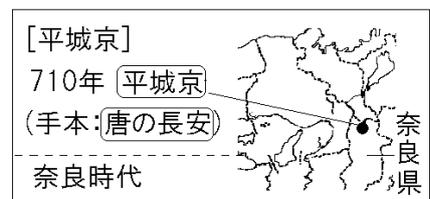
(岐阜県)

[解答欄]

[解答]平城京

[解説]

7世紀後半の天武天皇^{てんむ}以降、天皇中心の中央集権化された律令国家^{りつりょう}が完成し、701年には大宝律令^{たいほうりつりょう}がつくられた。それまで、都は天皇が変わるたびに、変えられていたが、律令国家の新しい都として、710年に、現在の奈良^{なら}県に平城京^{へいじょうきょう}(右の地図)がつくられた。(南都^{なんと}(710)平城京)以後、794年に平安京^{へいあんきょう}に都を移すまでの約80年間を奈良時代という。



平城京は、^{とう}唐の都^{ちょうあん}長安(右の地図)を手本にしたもので、広い道路によってごぼんの目のように整然と区画され、中央を南北に走る朱雀大路によって左京と右京にわけられていた。



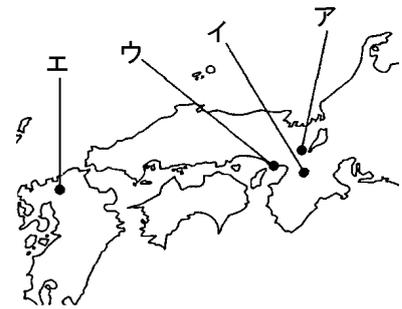
平城京の東西2つの市では各地の産物が売買された。平城京の北側に置かれた平城宮には、天皇の住居や役所が置かれた。このような大規模な都がつけられたのは、中央集権的な国家体制がととのい、国家の富が天皇・貴族に集中したためであった。

※入試出題頻度：「平城京(地図)◎」「唐の長安(地図)○」

[問題]

①平城京がおかれていたのは何世紀か。②また、平城京のあった場所を、右の図のア～エの中から1つ選んで、その記号を書け。

(徳島県・茨城県)



[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 8世紀 ② イ

[問題]

平城京の都づくりは、中国のある王朝の都になったものである。①その王朝名を答えよ。②また①の都の名前を答えよ。

(奈良県・宮城県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 唐 ② 長安

[問題]

平城京は、唐の都()を手本にしてつくられた。①()に当てはまる都の名称を書け。②また、この唐の都の場所を、右図のa～cから1つ選び、記号で答えよ。



(熊本県)

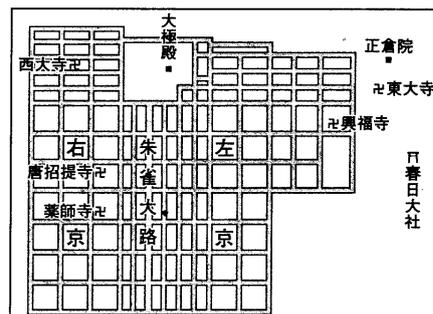
[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 長安 ② b

[問題]

唐の長安にならって、日本ではいくつかの都が作られた。右図は、そうした都の1つを示したものである。次の各問に答えよ。



(1) この都を何というか、漢字3字で書け。

(2) この都の特徴を簡潔に書け。

(和歌山県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 平城京 (2) 東西南北に走る道路によって碁盤目状に区画されている。

[解説]

平安京(794年)も唐の都である長安の影響を受けてつくられた都市で、碁盤目状に区画され、中央の朱雀大路で左京と右京に分かれていた点では平城京と同じである。問題の図の中には、東大寺、正倉院、唐招提寺など奈良時代の天平文化を代表する建物があることから、平城京であると判断できる。

[和同開珎]

[問題]

奈良時代、朝廷は、中国にならった国家づくりを積極的に行い、その中で貨幣を発行した。しかし、地方では米や布などの物品による取引が広く行われていたためあまり普及しなかった。この時代に日本で発行された貨幣として、正しいものを、次から1つ選べ。

[永楽通宝 慶長大判 開元通宝 和同開珎]

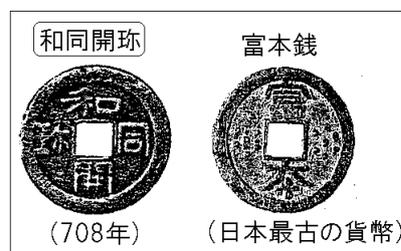
(宮城県)

[解答欄]

[解答]和同開珎

[解説]

わが国最古の貨幣は富本銭である。また、武蔵国から銅が産出されたのを記念して、708年に和同開珎が作られた。平城京には東西に市がおかれ、さまざまな品物が取り引きされたが、和同開珎はそのときに使用されたと考えられる。しかし、一般には稲や布などの物品による取引が行われていたために、平城京やその付近以外では流通しなかった。

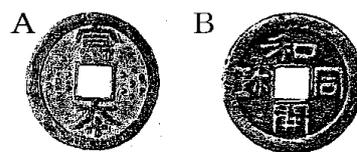


※入試出題頻度：「富本銭△」「和同開珎○」

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 日本最古の貨幣といわれる右図の A を何というか。
(2) 708 年につくられた右図 B の貨幣を何というか。



(千葉県改)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 富本銭 (2) 和同開珎

[問題]

今では富本銭が日本で最初につくられた銅銭といわれている。富本銭や和同開珎は(唐/清/元/明)の銅銭にならってつくられたといわれている。文中の()から適語を選べ。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]唐

[解説]

和同開珎は 8 世紀初頭に鑄造された。このときの中国王朝が唐であったことは、その時代日本から盛んに遣唐使が派遣されていたことからわかる。

[問題]

平城京に関することがらとして誤っているものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えよ。

- ア 平城京では市が開かれ品物の取引にお金が使われた。
イ 平城京では、仏教と唐の文化の影響を受けた天平文化が栄えた。
ウ 桓武天皇は政治を立て直すために、平城京へ都を移した。
エ 唐の都である長安を手本として平城京はつくられた。

(熊本県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

ウが誤り。桓武天皇が政治を立て直すために 794 年に移した都は平安京である。

[律令による役所のしくみ]

[問題]

律令制度のもとで、地方を周防国などのような国に分けて治めるしくみが整った。このしくみにより、中央から地方の国に派遣された役人を何というか。

(山口県)

[解答欄]

[解答]国司

[解説]

大宝律令^{たいほうりつりょう}で定められた統治組織は、中央に、神々の祭りの儀式^{ぎしき}をつかさどる神祇官^{じんぎかん}と、一般政務をつかさどる太政官^{たいじょうかん}の二官があり、太政官のもとには八つの省が置かれた。

[律令による役所のしくみ]

中央：太政官，神祇官

地方：国司- 郡司

太宰府，多賀城

地方は66の国に分けられ、国ごとに国府^{こくふ}という役所が置かれ、中央の貴族が国司^{こくし}として派遣^{はけん}された。国はさらに郡^{ぐん}に分けられ、地方の豪族から選ばれた郡司^{ぐんじ}に治めさせた。さらに、現在の福岡県に、九州地方の政治のほかに外交や防衛^{だざいふ}に当たる太宰府^{たいざいふ}が置かれた。現在の宮城県には、東北地方の政治や軍事を担当する多賀城^{たがじょう}が設置された。

※入試出題頻度：「太政官△」「神祇官△」「国司○」「太宰府(地図)○」「多賀城(地図)△」

[問題]

次の文は、律令国家による地方の支配について述べたものである。X、Y にあてはまる語句の組み合わせとして適当なものを、下のア～エの中から1つ選べ。

地方は多くの国に区分され、国には(X)された(Y)と呼ばれる役人が置かれた。

ア X-中央から派遣 Y-守護

イ X-地方豪族から任命 Y-守護

ウ X-中央から派遣 Y-国司

エ X-地方豪族から任命 Y-国司

(福島県)

[解答欄]

[解答]ウ

[問題]

8世紀頃の律令国家において、地方はどのように治められていたか。「都」「地方の豪族」の2つの言葉を用いて、簡単に書け。

(香川県)

[解答欄]

[解答]国ごとに都から派遣された国司が、郡司として任命された地方の豪族を指揮して政治をおこなった。

[問題]

律令制度のもとで、九州諸国のとりまとめを行っていた役所は何か。

(山口県)

[解答欄]

[解答]大宰府

[問題]

次の文中のXに当てはまる2つの役割について、10字以内で書け。

大宰府は、大宝律令のもとで設けられた機関で、九州地方の支配を強める役割があった。それ以外にも、東アジアの国々に対する(X)という役割があった。

(大分県)

[解答欄]

[解答]外交や防衛を行う

[問題]

奈良時代に現在の宮城県に設置された行政と軍事の拠点を、次の[]から選べ。

[国分寺 多賀城 大宰府 安土城]

(群馬県)

[解答欄]

[解答]多賀城

[問題]

奈良時代に地方支配や外交のため、右の地図中の X, Y におかれていたものの組み合わせとして、正しいものはどれか。
次のア～エから 1 つ選べ。



ア X=多賀城 Y=六波羅探題

イ X=防人 Y=大宰府

ウ X=多賀城 Y=大宰府

エ X=防人 Y=六波羅探題

(長崎県)

[解答欄]

[解答]ウ

[問題]

奈良時代の国家のしくみについて述べた文として適切でないものを、次のア～エから 1 つ選び、その記号を書け。

ア 中央には太政官の下に八省がおかれた。

イ 地方の国には都から国司が派遣された。

ウ 戸籍をもとに人々に口分田が与えられた。

エ 農民に対して地頭から労役が課された。

(奈良県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

エは鎌倉時代である。

[問題]

701 年の大宝律令により、中央には二官八省がおかれた。二官のうち、①一般の政治を行うもの、②祭りの儀式を行うものをそれぞれ何というか。

(補充問題)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 太政官 ② 神祇官

【】班田収授法と税制

[班田収授法]

[問題]

戸籍に登録された6歳以上の人々に口分田を与えた制度を何というか。その名称を書け。

(新潟県)

[解答欄]

[解答]班田収授法

[解説]

645年に始まる大化の改新によって、それまで豪族が支配してきた土地と人々を国のものとする公地・公民の方針が定められた。しかし、実際に公地・公民の方針を具体化できたのは、672年の壬申の乱に勝利して天皇中心の中央集権を実現した天武

[班田収授法]

6歳以上の人に口分田

戸籍：6年ごと

天皇とそのあとを継いだ持統天皇(天武天皇のきさき)以降であった。持統天皇のもとで、班田収授の基礎となる戸籍が整備され、692年に全国的な班田収授が始まった。701年の大宝律令で律令制度が完成したが、この律令制度の下では、6年ごとに戸籍がつくられ、人々は、良民と賤民に分けて登録された。戸籍に登録された6歳以上のすべての人々に口分田があたえられ(良民の男子には2段、女子にはその3分の2)、死ぬと国に返させた。この制度を班田収授法という。

※入試出題頻度：「班田収授法◎」「戸籍○」「6歳以上○」「口分田◎」

[問題]

班田収授法にもとづき、戸籍に登録された6歳以上の人々に性別や身分などに応じて律令国家からあたえられた土地を何というか。漢字3字で書け。

(岡山県)

[解答欄]

[解答]口分田

[問題]

次の文中の①、②に適語を入れよ。

律令制のもとで、戸籍に登録された6歳以上のすべての人々に、(①)田があたえられ、その人が死ぬと国に返すという(②)法が定められた。土地を与えられた農民には、税や労役など多くの負担が課された。

(長野県・群馬県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 口分 ② 班田収授

[問題]

班田収授法による口分田の収授について述べた次の文中の①～③の()内からそれぞれ適する数字, または適語を選べ。

①(3/6)年ごとにつくられる戸籍に登録された②(3/6)歳以上のすべての人々に口分田が与えられた。口分田は, 良民の男子には2段, 女子にはその③(2分の1/3分の2)が与えられた。

(福島県)

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 6 ② 6 ③ 3分の2

[問題]

古代の律令制のもとでは, 人々は戸籍に登録され, 班田収授法によって一定の口分田が与えられた。次の表は, 当時の戸籍から性別と年齢を抜き出したものである。表の13人のうち, 口分田が与えられる対象は何人か。

(表)

女38歳 男5歳 女6歳 女1歳 男26歳 男2歳 男16歳 女29歳 女14歳
男4歳 女63歳 女61歳 女16歳

(熊本県)

[解答欄]

--

[解答]9人

[解説]

班田収授法によって, 戸籍に登録された6歳以上のすべての人々に口分田があたえられた。

この問題では,

女38歳 女6歳 男26歳 男16歳 女29歳 女14歳 女63歳 女61歳 女16歳
の9人に口分田を与えられる。

[問題]

人々に口分田を与える際には、律令制度のもとで人々を把握するために行われていた、あることが用いられた。律令制度のもとで、人々の名前、性別、年齢などを把握するために行われたことは何か。簡単に書け。

(静岡県)

[解答欄]

[解答]戸籍を作ること

[問題]

次のア～エのうち、古代の土地と税との関係について述べた文として最も適切なものはどれか。その記号を書け。

ア 地主の土地が小作人に安く売り渡され、自分の土地で税を納められる者が増加した。

イ 自分が耕作する土地の価値や面積、税額などを記した地券を所持していた。

ウ 人々は国から農地を与えられ、そこからの収穫物で税を納め、死後は国に返した。

エ 自分の土地を持つ本百姓から村役人が選ばれ年貢の納入に責任を負った。

(広島県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

アは戦後(昭和)の農地改革、イは明治時代の地租改正、ウは奈良時代の班田収授法、エは江戸時代である。

[税制・兵役]

[問題]

唐の制度にならった律令制のもとで、班田収授(法)により農地を割りあてられた人々には税が課せられ、その一部は、面積に応じて稲でおさめられていた。何という税が稲でおさめられていたか。

(山口県)

[解答欄]

[解答]租

【解説】

農民には、租・庸・調・雑徭などの税が課せられた。租は口分田にかかる税で、収穫量の約3%を納める比較的軽いものであった。成年男子にかかる庸(労役のかわりに布(麻布)を納める)、調(絹、糸、真綿、地方の特産物を納める)は、農民自身の手で都に運ばねばならず(農民の中から人夫が選ばれた)、

行き帰りの食料などが自己負担であったため、限度をこえた重すぎる負担であった。また、雑徭は成年男子に課せられ、国司の命令で年間最大で60日の労役を提供するものであった。さらに、成年男子3~4人に1人の割合で兵士が徴発された。兵士は諸国におかれた軍団で訓練を受け、一部は都の警備を行い、一部は九州北部を守る防人となった。兵士は、武装や食料などを自分で負担しなければならなかったから、その負担は非常に重かった。また、兵士を出すことはその家にとっても働き手をとられることになり、大きな負担であった。このような重い税負担と働き手を労役や兵役にとられてしまうため、春から夏には、種もみや食べる米がなくなってしまう人々も多かった。かれらは国司などから稲を借りてしのいだが、秋には高い利息(5割という高利)をつけて返さなければならなかった。これを公出拳というが、のちには強制的に貸し付けられるようになった。

※入試出題頻度：「租◎」「庸◎」「調◎」「雑徭△」「防人◎」

【人々の負担】

名称	内容
租	口分田の面積に応じて稲を納める(3%)
庸	労役のかわりに布(麻布)を納める
調	絹, 糸, 真綿, 地方の特産物を納める
雑徭	年間60日以下の労役
公出拳	国司による強制的な種もみの貸し付け
兵役	防人, 衛士

【問題】

次の表は口分田を与えられた人々に課せられた主な負担内容についてまとめたものである。()に適することばを書け。

	主な負担内容
租	()
庸	都での労役の代わりに布を納める。
調	地方の特産物を納める。
労役(雑徭)	地方で土木工事などに従事する。
兵役	都や九州北部などの守りにつく。

(鹿児島県)

【解答欄】

【解答】収穫の約3%の稲を納める。

[問題]

班田収授法と税制について述べた文として適切でないものを、次のア～エの中から1つ選び、その記号を書け。

- ア 戸籍に登録された6歳以上のすべての人々に口分田があたえられた。
- イ 性別や良民，賤民の身分に応じて口分田の広さが決められていた。
- ウ 口分田をあたえられた人が死ぬと，国に返すことになっていた。
- エ 人々は，口分田の面積に応じて調を負担した。

(青森県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

エが誤り。口分田の面積に応じて負担したのは租である。

[問題]

右の資料は，奈良時代の税制度についてまとめたものである。
資料中のa～cに当てはまるものを次のア～ウからそれぞれ選べ。

- ア 地方の特産物
- イ 稲の収穫量の約3%
- ウ 麻の布

種類	負担の内容
租	(a)
調	(b)
庸	(c)

(高知県改)

[解答欄]

a :	b :	c :
-----	-----	-----

[解答]a : イ b : ア c : ウ

[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

大宝律令により，人々には税や労役など多くの負担が課せられた。税には，きまった量の稲を納める租，特産物などを納める(①)，労役のかわりに布などを納める(②)があった。

(栃木県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 調 ② 庸

[問題]

右の資料は、平城京跡から発見された、平城京に税を納める際に用いられた荷札である。①資料の荷札に書かれている文字から税の種類を表すものを1字抜き出せ。②また、その税について説明せよ。

(奈良県)

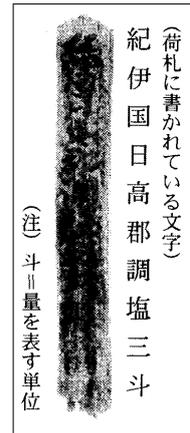
[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 調 ② 地方の特産物などを納める税

[解説]

「調塩三斗」の文字に注意。京に納める税とある。



[問題]

律令制度における農民の生活に関する資料 1, 2 を用意した。

(資料 1) 税の納入を示す木簡 「肥後国益城郡調綿一百屯」

(資料 2) 「続日本紀」の一節(現代語訳)

「諸国の農民が、都から郷里へ帰る途中で飢え、道端の溝などに転げ落ちることが多い。」

- (1) 農民が負担した税の名称と税として納めた物を、資料 1 の中からそれぞれ抜き出して書け。
- (2) 資料 2 はどのようなことについて述べたものか、最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、記号を書け。

ア 五人組の制度 イ 税の運搬 ウ 通行税の支払い エ 座の運営

(長野県)

[解答欄]

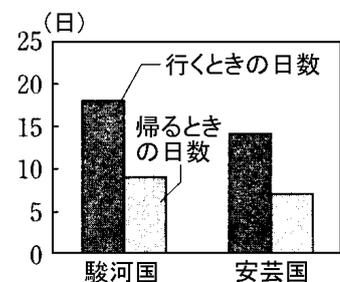
(1)税の名称：	納めた物：	(2)
----------	-------	-----

[解答](1)税の名称：調 納めた物：綿 (2) イ

[問題]

大宝律令によって、新しい国家の仕組みが整えられ、農民には多くの義務が課せられた。グラフは、大宝律令に規定されているある義務を果たすために、駿河国、安芸国の農民が、都に行くときの日数と、都からそれぞれの国に帰るときの日数を示している。都に行くときの日数と都から帰るときの日数に、グラフのような違いがみられるのは、農民に課せられた義務によるものである。その農民の義務を、簡単に書け。

(静岡県)



[解答欄]

[解答]調や庸を都まで運ぶこと。

[問題]

次のア～エのうち、適切なものを1つ選び、記号を書け。

- ア 税の負担のうち、租は稲の収穫の約10%をおさめるものであった。
- イ 税の負担のうち、調は特産物で、それらを都まで運ぶ費用は国司が負担した。
- ウ 戸籍は毎年作成され、家族の氏名(姓氏)・年齢や身分などが記されていた。
- エ 口分田は6歳以上の男女に与えられ、死後に国へ返さなければならなかった。

(富山県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

- アは誤り。租は収穫高の3%であった。
- イは誤り。調(特産物)や庸(布など)は、自己の負担で都まで運ばなければならなかった。
- ウは誤り。戸籍は6年ごとに作成された。

[問題]

律令時代、成年男子に課せられた地方での労役を何というか。次の中から1つ選べ。

[租 庸 調 雑徭]

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]雑徭

[問題]

農民たちは米がなくなると国司や豪族から稲を借りてしのいだが、高い利息をつけて返さなければならなかった。のちに強制的に貸し付けられるようになったこのような負担を何というか。

(補充問題)

[解答欄]

[解答]出挙

[問題]

大宝律令では、成人男子の農民に兵役の義務が課せられた。兵士のなかで、九州北部の守りにあたった者は何とよばれたか。その名称を書け。

(奈良県)

[解答欄]

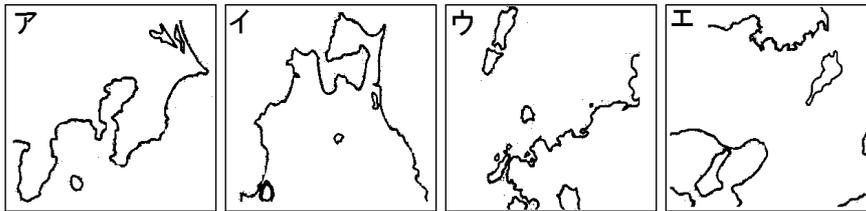
[解答]防人

[解説]

わが国は百済くだらを助けるため朝鮮半島に出兵したが、663年に白村江はくそんこうの戦いで唐とうと新羅に敗れ、新羅しらぎが朝鮮半島を統一した。わが国は唐・新羅が北九州に攻め込むのを恐れ防人を全国から北九州に派遣した。

[問題]

防人は、ある地域の守りについた。その地域を含む略地図を下図のア～エから1つ選び、記号で書け。



(山梨県)

[解答欄]

[解答]ウ

[問題]

日本の律令制度にすることがらについて正しく述べた文はどれか。下のア～エのうちから最も適当なものを1つ選び、その符号を書け。

ア 調を都まで運搬する義務が定められていた。

イ 防人として、都の近辺の守りにつかなければならなかった。

ウ 戸籍は、毎年つくる定めになっていた。

エ 戸籍に登録された者には、年齢に関係なく口分田が与えられた。

(千葉県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

イは誤り。防人は九州北部の守りについた。
 ウは誤り。戸籍は6年ごとに作られた。
 エは誤り。口分田があたえられたのは6歳以上の男女である。

[農民の苦しみ]

[問題]

次の文章中の①, ②に適語を入れよ。

奈良時代の農民にとって租・庸・調・雑徭などの税や兵役の義務は限度を超えた負担であった。この当時の戸籍では、記載された男と女のうち(①)の数が圧倒的に多いが、これは男子のみに課せられる庸・調・雑徭・兵役をまぬがれようとして偽って申告したためである。また、万葉集におさめられている「から衣 すそに取りつき 泣く子らを 置きてぞ来ぬや 母なしにして」という(②)の歌は、農民の苦悩を表している。

(補充問題)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 女 ② 防人

[解説]

ほんでんしゅうじゆのほう そ よう ちょう ぞうよう
 班田収授法と租・庸・調・雑徭などの税制は、唐の制度をモデルにしてつくられたものであるが、農民にとっては限度を超えた重すぎる負担であった。

租は収穫量の約3%と比較的軽かったが、男子にかかる庸や調をあわせた税負担はかなり重いものであった。庸や調

は農民たち自身の手で都に運ばなければならず(農民の中から人夫が選ばれた)、雑徭といって国司のもとで年間60日の労役を課せられた。さらに、成年男子3~4人に1人の割合で兵役の義務があった。

農民にとって、これらの負担はきわめて重く、農作業に必要な時間までうばわれてしまった。天候の不順や害虫などのためにききんが起りやすく、わずかなことで生計が成り立たなくなることも多かった。まんようしゅう万葉集におさめられている「から衣 すそに取りつき 泣く子らを置きてぞ来ぬや 母なしにして」(私の着物のすそにとりついて泣く子どもらを、家においてきてしまった。母親もいないのに、今ごろはどうしているのだろうか。)という防人の歌からも、こうした農民の苦悩を感じ取ることができる。

[重い税負担→農民の苦しみ]

男を女と申告して男子のみに課せられる庸・調・雑徭・兵役をまぬがれようとした

万葉集：防人の歌

重い負担をのがれるために、男を女といつわって申告して男子のみに課せられる庸・調・雑徭・兵役をまぬがれようとした(女子には庸・調・雑徭や兵役がなかった)。また、口分田を返したくないあまり、実際には死亡している人を、人々が戸籍に登録し続けるといういつわりも行われていた。重い負担にたえかねて口分田をすてて流浪する農民も少なくなかった。
 ※入試出題頻度：「男を女といつわって申告して男子のみに課せられる庸・調・雑徭・兵役をまぬがれようとしたため○」「万葉集の防人の歌△」

[問題]

律令国家では、戸籍をつくることが定められていたが、平安時代になると、戸籍にいつわりが多くなった。表1は、10世紀につくられた戸籍に登録された人の、性別、年齢階級別の人数を示している。表2は、主な税と、その負担者を示している。このことに関して、次の各問いに答えよ。

(表1)	男子(人)	女子(人)	(表2)	負担者
16歳以下	4	0	租	6歳以上の男女
17歳～65歳	23	171	調	17～65歳の男子
66歳以上	15	137	庸	21～65歳の男子
			雑徭	17～65歳の男子

- (1) 表1の、男子の人数と女子の人数に大きな差が見られることから、性別のいつわりが行われていたと考えられる。表2をもとにして、人々が性別をいつわった理由を、簡単に書け。
- (2) 表1に、66歳以上の人が多く見られることから、実際には死亡している人を、人々が戸籍に登録し続けるといういつわりが行われていたと考えられる。人々が、戸籍に死亡している人を登録し続けた理由を、簡単に書け。

(静岡県)

[解答欄]

(1)	
(2)	

[解答](1) 男子には、調や庸、雑徭があり、女子より負担が重かったから。

(2) 口分田を返したくなかったから。

[墾田永年私財法]

[問題]

班田収授法が実施され口分田からの収穫の一部を租として納めさせる制度が始まった。人口増加により、口分田が不足すると、(X)法が出され新しく開墾した土地を永久に私有することが認められた。その後、貴族や寺社などが開墾をすすめ、多くの荘園がつけられた。文中の X に適語を入れよ。

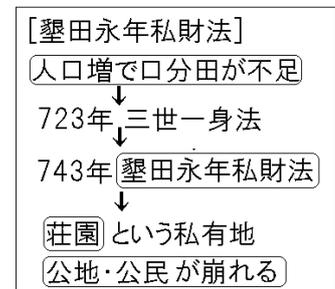
(栃木県)

[解答欄]

[解答]墾田永年私財

[解説]

奈良時代、鉄製農具が広まり稲の収穫は増えてきた。しかし、それ以上に人口が増加したために口分田が不足ようになった。そこで、723年には三世一身法を出し、人々が新しく開墾した土地は、一定期間私有を認めることにした。しかし、あまり開墾が進まなかったため、743年、聖武天皇は墾田永年私財法を出して、新しく開墾した土地の私有を認めることとした(なよみ(悩み)(743)多き私財法)。ただし、私有地であっても



租は課税された。墾田永年私財法が出されると、貴族や寺院や郡司は、周りの農民を使って開墾を進め、広い私有地をもつようになった。これが荘園の始まりである。墾田永年私財法によって、耕地面積が拡大し税収が増加した。しかし、土地の私有を認めた結果、公地・公民の原則はくずれることになった。

※入試出題頻度：「人口増で口分田が不足○」「墾田永年私財法◎」「荘園○」「公地・公民の原則がくずれた○」

[問題]

奈良時代には、重い税や兵役の負担からのがれるため、口分田を捨てて逃亡する農民が現れた。また、人口が増え、口分田が不足してきたこともあり、朝廷は開墾を奨励し、①新しく開墾した土地を永久に所有することを認めた。そのため、②私有地を広げる者などが現れるようになった。

- (1) 下線部①の法令を何というか。
- (2) 下線部②にあてはまるものを、次から1つ選べ。

[土倉や酒屋 貴族や寺院 守護や地頭 商人や手工業者]

(滋賀県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 墾田永年私財法 (2) 貴族や寺院

[問題]

東大寺の大仏をつくらせた(X)天皇は、人々に開墾をすすめる墾田永年私財法を出した。これにより土地の私有が認められた。文中の X に適語を入れよ。

(埼玉県)

[解答欄]

[解答]聖武

[問題]

墾田永年私財法が定められた理由として最も適当なものを、次のア～エから 1 つ選び、その符号を書け。

ア 豪族が支配していたすべての土地を、国家が直接支配する必要があったから。

イ 不正を働き、自分の利益をふやす国司を取り締まる必要があったから。

ウ 地頭の圧政に対して、農民の不満が高まってきたから。

エ 人口の増加により、口分田が不足してきたから。

(新潟県)

[解答欄]

[解答]エ

[問題]

朝廷は、743 年に墾田永年私財法を定め、人々に開墾をすすめた。朝廷が人々に開墾をすすめた理由を書け。

(山形県)

[解答欄]

[解答]口分田が不足したから。

[問題]

朝廷は、口分田が不足してきたことで、743年に墾田永年私財法を出して、人々に開墾を奨励した。当時、口分田が不足したのはなぜか、理由を書け。

(熊本県)

[解答欄]

[解答]人口が増加したから。

[問題]

墾田永年私財法ではどのようなことが定められたのか、「私有」ということばを用いて書け。

(三重県)

[解答欄]

[解答]新たに開墾した土地の私有が認められた。

[問題]

朝廷は、従来の方針をあらためて墾田永年私財法を定めた。その結果、貴族や寺社などがさかんに開墾を行い、平安時代にかけて私有地が広がった。この私有地は何とよばれたか。その名称を書け。

(奈良県)

[解答欄]

[解答]荘園

[問題]

墾田永年私財法が出された結果、わが国の社会にどのような変化が起こったか。「私有地」「貴族や寺社」「公地公民」の3つの語句を使って書け。

(福岡県)

[解答欄]

[解答]荘園という私有地をもつ貴族や寺社がでてきて、公地公民の原則がくずれた。

【】 中国や朝鮮との関係

[遣唐使]

[問題]

右の資料は何度も航海に失敗したにもかかわらず来日して、仏教の教えを広めた人物の像である。このころ日本から中国の制度や文化を取り入れようと派遣された使節を何というか。



(富山県)

[解答欄]

[解答]遣唐使

[解説]

聖徳太子しょうとくたいしの時代、中国では隋ずい(589～618年)が中国を統一していた。隋はわずか30年で唐(618～907年)に滅ぼされた。唐のすぐれた制度や文化を取り入れることを目的として、630年に最初の遣唐使が派遣され、飛鳥時代後半～奈良時代～平安中期の間、894年に菅原道真すがわらのみちざねの建議によって廃止されるまでの260年間、合計10数回にわたって遣唐使けんとうしが派遣された。



当時の遣唐使船は波に弱く、途中で難破する危険が非常に大きかった。そのため、最初は、朝鮮半島の岸沿いに航海を行

っていた。中大兄皇子なかのおえのおうじが大化改新たいかのかいしんによる改革を進めていたころ、朝鮮半島を統一しようとした新羅しらぎと白村江はくそんこうで戦って敗れたが、これ以降、新羅との関係が悪化したため、遣唐使船は、朝鮮半島沿岸を通らず、東シナ海を横切る航路をとるようになった。なお、7世紀終わりごろに、中国東北部に渤海ぼっかいがおり、日本に通交を求めてきたので、日本もこれに応じた。

※入試出題頻度：「遣唐使○」「唐○」「新羅○」「渤海△」

[問題]

古代までのわが国は、東アジアからさまざまな影響を受けながら国家を形成した。中国へは留学生や留学僧がわが国の使節とともにわたった。次の[]のうち、7世紀前半から9世紀末までの間、わが国がたびたび使節を送った中国の王朝名はどれか。1つ選べ。

[漢 魏 唐 宋]

(大阪府)

[解答欄]

[解答]唐

[問題]

遣唐使はどのような目的で派遣されたか。その目的を書け。

(山形県)

[解答欄]

[解答]唐の進んだ制度や文化を取り入れること。

[問題]

右の地図は、都が平城京に移されたころの東アジアのようすを表したものである。地図中の a, b の国(王朝)の名の組み合わせとして最も適当なものを、ア～エから 1 つ選び、その記号を書け。

ア a : 唐 b : 新羅

イ a : 元 b : 新羅

ウ a : 唐 b : 高麗

エ a : 元 b : 高麗



(愛媛県)

[解答欄]

[解答]ア

[問題]

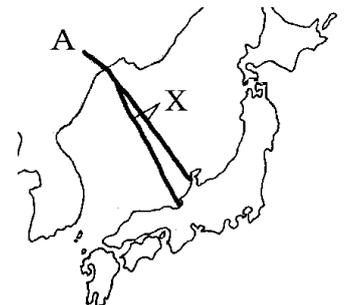
略地図の A の国は、8 世紀から 10 世紀にかけて、X のような経路を通じて日本と交流のあった国である。A の国として適切なものを、次の中から 1 つ選べ。

[渤海 高句麗 百済 新羅]

(青森県)

[解答欄]

[解答]渤海



【】天平文化・国家仏教・歴史書

[天平文化]

[問題]

奈良時代に、聖武天皇は、国ごとに国分寺と国分尼寺を、都には東大寺を建てた。この時代の文化を何文化というか。

(茨城県)

[解答欄]

[解答]天平文化

[解説]

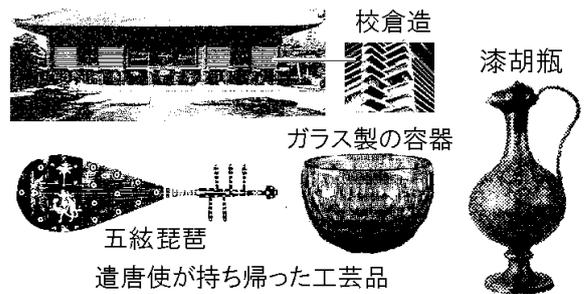
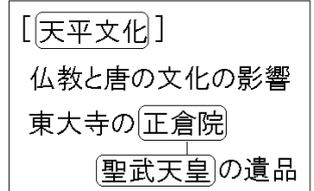
奈良時代には、仏教と唐の影響を受けた文化が栄えた。この文化は聖武天皇の天平年間にもっとも栄えたので、天平文化と呼ばれている。

東大寺の正倉院には、聖武天皇の身のまわりの品や工芸品が納め

られている。右のガラス製の容器や五絃琵琶などは西アジアやインドからシルクロードを^{ごげんびわ}通って唐に運ばれ、それを遣唐使が持ち帰ったものである。こうしたことから、正倉院は「シルクロードの終着点」ともいわれる。

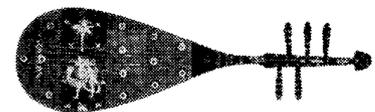
正倉院は三角形の木材を組んだ^{あぜくらづくり}校倉造^{たかゆかしき}でつくられており、高床式の構造になっている。

※入試出題頻度：「聖武天皇○」「天平文化○」「仏教と唐の影響を受けた文化△」「正倉院◎」「校倉造△」「シルクロード△」



[問題]

①右図の琵琶や遣唐使がもちかえったものなどがおさめられている東大寺の建物を何というか。②また、この建物には、聖武天皇の遺品が数多くおさめられているが、聖武天皇の時代に最も栄えた文化を何文化というか。



(石川県)

[解答欄]

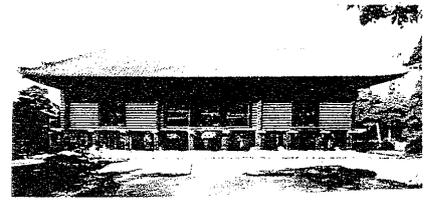
①	②
---	---

[解答]① 正倉院 ② 天平文化

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 右の写真の建物の名前を書け。
- (2) (1)の建物は三角形の木材を組んでつくられている。
このような建築様式を何というか。
- (3) (1)の建物には何という天皇の遺品が数多くおさめられているか。



(青森県改)

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 正倉院 (2) 校倉造 (3) 聖武天皇

[問題]

聖武天皇の時代に最も栄えた天平文化の特徴を書け。

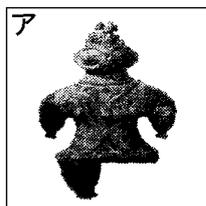
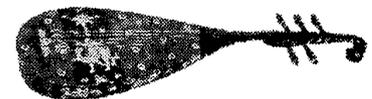
(青森県)

[解答欄]

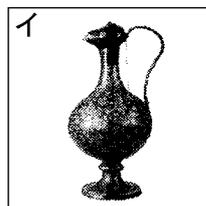
[解答]仏教と唐の影響を受けた文化

[問題]

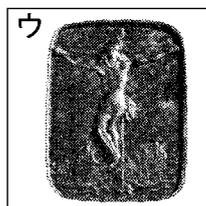
右の写真は、正倉院におさめられている5本の弦をつけた琵琶である。この琵琶と同じように正倉院におさめられており、西アジアなどの影響がみられるものはどれか。下のア～エのうちから1つ選び、その記号を書け。



土偶



漆胡瓶



踏絵



雪舟の水墨画

(岩手県)

[解答欄]

[解答]イ

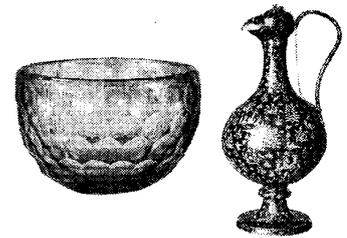
[解説]

アの土偶は縄文時代、ウの踏絵は江戸時代、エの水墨画は室町時代のもの。

[問題]

次の文中の①の()内から適語を選べ。また、②に適語を入れよ。

右の資料は、西アジアで生産されたと推定されるガラスの碗とペルシャ風の漆器の水さし(漆胡瓶)である。正倉院が建てられた当時のわが国は、中国に①(遣隋使/遣唐使)をつかわしており、正倉院の宝物の中には、中国と西アジアを結ぶ(②)とよばれる交通路を通して伝えられたものもある。



(熊本県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 遣唐使 ② シルクロード(絹の道)

[問題]

平城京では国際色豊かな文化が栄えた。この文化を代表するものを、次の[]から1つ選べ。

[中尊寺金色堂 五弦の琵琶 唐獅子図屏風 古今和歌集]

(滋賀県)

[解答欄]

--

[解答]五弦の琵琶

[問題]

東大寺の正倉院の中には、外国から伝わった多くの工芸品などが納められている。これらの工芸品は、どのようにしてわが国に伝わったか。次の語句を用いて、簡潔に説明せよ。

[西アジア 唐 シルクロード]

(和歌山県)

[解答欄]

--

[解答]西アジアなどの工芸品がシルクロードを通して唐に伝わり、遣唐使が持ち帰ってわが国にももたらされた。

[問題]

天平文化を代表する右の絵に描かれている女性の顔立ちは、中国で発見された「樹下美人図」の女性とよく似ている。このように、天平文化が中国の影響を受けていたのはなぜか、日本と中国の当時の交流を含めてその理由を書け。

(石川県)



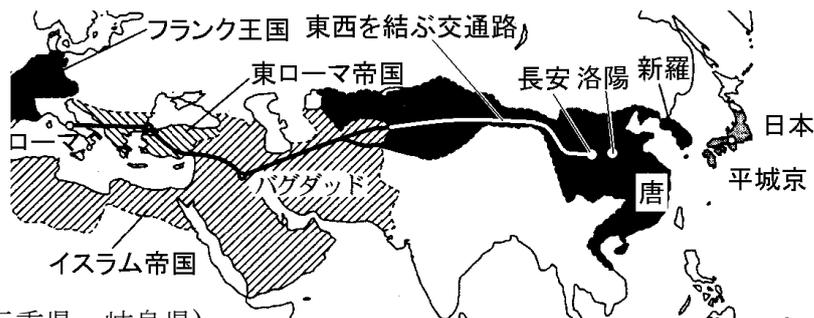
薬師寺吉祥天像

[解答欄]

[解答]遣唐使によって、唐の文化が入ってきていたから。

[問題]

次の資料の——は、7～8世紀ごろの東西を結ぶ交通路の1つを示している。①資料に示した東西を結ぶ交通路を何というか。②また、絹はこの交通路のどちらからどちらへ運ばれたか。「東」、「西」のことばで書け。



(三重県・岐阜県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① シルクロード(絹の道) ② 東から西

[問題]

奈良時代の文化の説明として最も適切なものはどれか、ア～エから1つ選べ。

- ア 公家の文化と武家の文化とが融合された文化
- イ 唐風の文化を基礎に日本風に改良された貴族の文化
- ウ 大名や豪商の経済力を反映した壮大で華やかな文化
- エ 豪族や貴族を中心に栄えた国際色の豊かな文化

(徳島県)

[解答欄]

--

[解答]エ

[解説]

アは室町時代の文化。イは平安時代の国風文化。ウは桃山文化。

[国家仏教]

[問題]

仏教の力で国家を守るため東大寺の大仏をつくることを命じた天皇は誰か。

(福井県)

[解答欄]

--

[解答]聖武天皇

[解説]

奈良時代の8世紀の中ごろ、農民は重税^{じゅうぜい}や伝染病^{でんせんびょう}に苦しみ、皇族や貴族の間では争いが激しくなった。当時、仏教は国家を守り、政治を安定させる力を持つと考えられていた。聖武天皇は、仏教の力によって国家を守ろうとし、国ごとに国分寺と国分尼寺、都には東大寺を建て大仏をつくった。

[聖武天皇]

仏教の力で国を守るため、

都 : 東大寺の大仏

地方: 国分寺, 国分尼寺

※入試出題頻度: 「聖武天皇○」「仏教の力で国をまもるため◎」「東大寺の大仏○」

「国分寺・国分尼寺△」

[問題]

聖武天皇は、国ごとに国分寺や国分尼寺を建て、大仏を造らせるなどしたが、それはなぜか。聖武天皇の視点から、次の文の空欄①、②に適語を入れよ。

(①)の力で(②)を守ろうと考えたため。

(沖縄県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 仏教 ② 国家

[問題]

聖武天皇は、国ごとに国分寺と国分尼寺を建て、都には東大寺を建てて大仏をつくった。その目的を、「仏教」という言葉を用いて、簡単に書け。

(愛媛県)

[解答欄]

--

[解答] 仏教の力によって国家を守るため。

[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

(①)天皇は、仏教の力で国を守ろうと大仏を本尊とする(②)寺を都に建て、地方には国分寺や国分尼寺を建てた。

(徳島県・群馬県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答] ① 聖武 ② 東大

[問題]

聖武天皇は、仏教の力で国家を守ろうと考えた。そのためにどのようなことをしたか。次に示した書き出しに続けて簡潔に書け。

都に()

地方の国ごとに()

(栃木県)

[解答欄]

(都に)
(地方の国ごとに)

[解答] (都に) 東大寺を建て、大仏をつくらせた。

(地方の国ごとに) 国分寺と国分尼寺をつくらせた。

[問題]

聖武天皇の政策としてあてはまらないものを、次の中から1つ選べ。

ア 遣唐使を中国に送った。

イ 初めて全国の戸籍をつくった。

ウ 東大寺を建て金銅の大仏をつくった。

エ 国ごとに国分寺と国分尼寺をつくった。

(青森県)

[解答欄]

--

【解答】イ

【解説】

戸籍がはじめてつくられたのは、7世紀後半の天智天皇てんじのとき。

【鑑真など】

【問題】

次の文中の①，②に適語を入れよ。

右図は、唐の僧であった(①)の像である。(①)は苦難のすえ、遣唐使の船で日本に渡来し、仏教の戒律を日本に伝えた。(①)は奈良の都に(②)寺を開いた。

(新潟県改)

【解答欄】

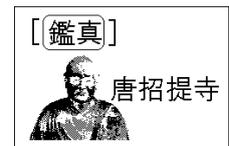
①	②
---	---

【解答】① 鑑真 ② 唐招提寺

【解説】

唐の僧である鑑真がんじんは仏教かいろつの戒律を日本へ伝えるため、日本に渡ろうとしていくども遭難そうなんし、盲目もうもくになりながらも日本への渡航とこうに成功し、のちに、唐招提寺とうしょうだいじを開いた。阿倍仲麻呂あべのなかまろは、留学生として唐にわたり、唐の政府に仕え、唐で一生を終えた人物である。

※入試出題頻度：「鑑真○」「唐招提寺△」



【問題】

東大寺の大仏が作られる際に力をつくし、また民間に仏教を広め、民衆とともに橋や用水路をつくるなどして活躍した右図の僧はだれか。

(栃木県)

【解答欄】

--

【解答】行基

【解説】

図の人物は大仏建立に協力した行基ぎょうきである。民衆に仏教を広め、民衆の協力を得て、橋やため池よう ちよう、庸や調きゆうけいじよを運ぶ人のための休憩所を作ったりした。

※入試出題頻度：「行基△」



[歴史書・万葉集]

[問題]

律令国家の成立とともにつくられた歴史書は「古事記」と、あと1つは何か、書け。

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]日本書紀

[解説]

天皇中心の中央集権国家ができあがったのは、672年の壬申^{じんしん}の乱^{らん}に勝利をおさめた天武天皇^{てんむ}の時代であった。国家のしくみが整ってくると、日本の国のおこりや、天皇が国を治める由来を説明するために歴史書の編^{へん}さんがおこなわれた。天武天皇の時代に始められた歴史書の編さん事業は奈良時代に完

成し、日本書紀^{にほんしょき}と古事記^{こじき}がつくられた。国ごとには、地理や産物、言い伝えなどをまとめた風土記^{ふどき}がつくられた。

また、天皇・貴族や農民などの和歌4500首ほどを集めた万葉集^{まんようしゅう}がつくられた。万葉集では、漢字の音で日本語を表す万葉仮名^{まんようがな}が使われている。

※入試出題頻度：「日本書紀◎」「古事記◎」「風土記◎」「万葉集◎」「万葉仮名△」

[歴史書・和歌集]

歴史書：日本書紀、古事記

国ごとに：風土記

和歌集：万葉集（万葉仮名）

[問題]

古墳がつくられていたころの人々の生活には、自然や一族の神に対する信仰が生きており、やがて神話や伝承が形づくられていった。次の中から、これらの神話や伝承などをもとにまとめられた日本の歴史書を1つ選べ。

[魏志倭人伝 古事記 万葉集 源氏物語]

(静岡県)

[解答欄]

[解答]古事記

[問題]

8世紀、日本の国家のおこりや天皇が国を治めるいわれなどを、神話や伝承・記録などをもとにまとめた歴史書がつくられた。この歴史書を2つ答えよ。

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]古事記，日本書紀

[問題]

奈良時代には，各地方の国ごとに，産物や地名の由来，伝承などを記した書物がつくられた。この書物を何というか，漢字3字で答えよ。

(島根県)

[解答欄]

[解答]風土記

[問題]

わが国では，奈良時代に入ると，神話や国のおこり，地方の産物や地名の由来などをまとめようとする動きがおこった。次の[]のうち，奈良時代につくられたものとしてあてはまらないものはどれか。1つ選べ。

[日本書紀 古事記 風土記 方丈記]

(香川県)

[解答欄]

[解答]方丈記

[問題]

「日本書紀」の説明として，最も適当なものはどれか。

- ア 町人の喜びや悲しみを描いた小説
- イ 天皇から庶民までの歌をおさめた和歌集
- ウ 琵琶法師によって語られた，武士の活躍を描いた軍記物
- エ 伝承や説話をもとにした歴史書

(栃木県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

アは江戸時代の浮世草子。イは万葉集。ウは平家物語。

[問題]

次の文中の X に適する語句を下の[]から選べ。

奈良時代の末期にまとめられた(X)には、天皇や貴族の和歌とともに農民や防人など民衆の和歌もおさめられており、当時の人々の生活のようすを知ることができる。

[万葉集 枕草子 風土記 古今和歌集]

(新潟県)

[解答欄]

[解答]万葉集

[問題]

①右の歌をはじめ、天皇・貴族や庶民の歌など、約 4500 首が収められている和歌集を何というか。②①では漢字の音で日本語を表す何という仮名が使われているか。

(山口県改)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 万葉集 ② 万葉仮名

意	お	意	お	奈	な	須	す	可	か
母	も	伎	き	苦	く	宗	そ	良	ら
奈	な	互	て	古	こ	介	に	己	こ
之	し	曾	そ	良	ら	等	と	呂	ろ
介	に	伎	き	乎	を	里	り	武	む
志	し	怒	ぬ			都	つ		
互	て	也	や			伎	き		

[問題]

奈良時代に編集された「万葉集」には、天皇や貴族のほかに、農民や、九州北部の守りについていた(屯田兵／南蛮人／遣唐使／防人)とよばれた人々の歌もおさめられている。

(栃木県)

[解答欄]

[解答]防人

【FdData 入試版のご案内】

詳細は、[\[FdData 入試ホームページ\]](#)に掲載 ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

姉妹品：[\[FdData 中間期末ホームページ\]](#) ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

◆印刷・編集

この PDF ファイルは、FdData 入試を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないように設定しております。製品版の FdData 入試は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

◆FdData 入試の特徴

FdData 入試は、公立高校入試問題の全傾向を網羅することを基本方針に編集したワープロデータ(Word 文書)です。入試理科・入試社会ともに、過去に出題された公立高校入試の問題をいったんばらばらに分解して、細かい單元ごとに再編集して作成しております。

◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは、製品の Word 文書を PDF ファイルに変換したもので印刷や編集はできませんが、製品の全内容を掲載しており、どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。

しかし、FdData 入試がその本来の力を発揮するのは印刷や編集ができる製品版においてです。また、製品版は、すぐ印刷して使える「問題解答分離形式」、編集に適した「問題解答一体形式」、暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」の 3 形式を含んでいますので、目的に応じて活用することができます。

※[FdData 入試の特徴\(QandA 方式\)](#) ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

◆FdData 入試製品版(Word 版)の価格(消費税込み)

※以下のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると、新規ウィンドウが開きます

[社会地理](#)、[社会歴史](#)、[社会公民](#)：各 6,800 円(統合版は 16,200 円) ([Shift]+左クリック)

[理科 1 年](#)、[理科 2 年](#)、[理科 3 年](#)：各 6,800 円(統合版は 16,200 円) ([Shift]+左クリック)

※Windows パソコンにマイクロソフト Word がインストールされていることが必要です。(Mac の場合はお電話でお問い合わせください)。

◆ご注文は、メール(info2@fdtext.com)、または電話(092-811-0960)で承っております。

※[注文→インストール→編集・印刷の流れ](#) ([Shift]+左クリック)

※[注文メール記入例](#) ([Shift]+左クリック)

【Fd 教材開発】 Mail : info2@fdtext.com Tel : 092-811-0960